

平成21年度 函館工業高等学校の学校評価について

- 1 アンケートは教職員、学校評議員及び保護者代表に各質問項目を次の4段階で評価いただきました。
 A：大変よい（思う、された、できた、等）
 B：概ねよい（少し思う、概ねされた、ほぼできた、等）
 C：あまりよくない（あまり思わない、あまりできていない、等）
 D：よくない（思わない、されていない、できていない、等）
- 2 分析については適正かつ客観的な評価とするため、A～Dの評価に4～1の重みを付け、その平均値を指標として表しました。
- 3 指標が3.6以上については「高く評価できる」として 印、2.6～3.0については「どちらとも言えない」、2.5以下については「評価できない」として 印で表しました。

【 】は今年度の評価（指標）

A 教職員による自己評価

1 全日制課程

(1) 学校経営等について	
学校教育目標等について（学校の目指す姿の地域理解等）	【 2.9 】
重点目標について（重点目標1～5の達成度）	【 3.0 】
経営方針について（理解と学校経営への参画意識等）	【 3.0 】
(2) 学校運営について	
教育活動について（悩みの早期発見、授業時間の確保等）	【 2.9 】
研修等について（校内外の研修会や研究会への参加等）	【 2.7 】
外部との連携について（PTA、企業、同窓会等との状況）	【 3.1 】
その他（行事精選、予算執行、校内連携、組織、危機管理等）	【 2.9 】
(3) 生徒の実態（挨拶、家庭学習、集会態度、部活動、通学マナー等）	【 2.9 】
(4) 自己評価（教科指導、研修、充実感、サービス、情報、健康管理等）	【 3.0 】

大項目では昨年度とほぼ同程度の評価となりましたが、特に生徒に対する評価では「部活動の取組」や「外来者への挨拶」が高い評価となりました。また、教職員個々の自己評価では「サービスの遵守」「個人情報の管理」「仕事の充実感」が高い結果となった反面、「授業時間の確保」「校内研修」「学校行事の精選」等で評価を下げ、今後の検討課題となりました。「授業時間の確保」で評価を下げた原因は新型インフルエンザによる学年閉鎖のためであり、行事や定期考査の実施方法を工夫、家庭学習課題を配付・提出・点検を行うなど、学習の取組や時間確保に努めたところであるが、完全補充ができなかったことからと考えます。

これらの評価を考慮の上、各分掌が年度末反省を行い次年度の取組課題等を検討してまいります。

2 定時制課程

(1) 学校経営等について	
学校教育目標等について（学校の目指す姿の地域理解等）	【 2.7 】
重点目標について（重点目標1～5の達成度）	【 2.7 】
経営方針について（理解と学校経営への参画意識等）	【 2.8 】

(2) 学校運営について	【 2 . 9 】
教育活動について（悩みの早期発見、授業時間の確保等）	【 2 . 9 】
研修等について（校内外の研修会や研究会への参加等）	【 3 . 1 】
外部との連携について（PTA、企業、同窓会等との状況）	【 2 . 8 】
その他（行事精選、予算執行、校内連携、組織、危機管理等）	【 2 . 3 】
(3) 生徒の実態（挨拶、家庭学習、集会態度、部活動、通学マナー等）	【 2 . 9 】
(4) 自己評価（教科指導、研修、充実感、サービス、情報、健康管理等）	

大項目の多くで0.1～0.3P、評価を下げました。小項目では重点目標2「学ぶ習慣を身に付けさせ、基礎学力を定着させる」、「企業等との連携」が評価を下げました。また生徒の実態では「適切な言葉での会話」「集会等での聞く態度」等で課題を残しました。教職員個々の自己評価では全日制と同様、「サービス規律の遵守」「個人情報管理」では評価は高く、しっかり守られていると判断しています。

これらの評価を考慮の上、各分掌が年度末反省を行い次年度の取組課題等を検討してまいります。